

Q：治験で使用する「くすりの候補」はどうやって選ぶのですか？

A：膨大な数の「くすりの候補」の中から効き目と好ましくない作用（副作用）を研究して、「くすりの候補」を選びます。

- もう少し細かく見てみましょう
- ◆ 病気に効くからと言っても、安全でなければくすりにはなりません。そこで、病気を改善する作用があると思われる数千、数万の「くすりの候補」となる化合物などを作り、まず作用があるかを検討します。その後、安全性に関する世界共通の細かな基準に従ってそれらを一つ一つ慎重に選定していきます。また、「くすりの候補」となる化合物などが体の中でどう変化し、吸収され、排出されるのか、飲み薬がよいか注射がよいのかも調べます。これが基礎研究や非臨床（動物）試験と呼ばれる段階です。安全性に問題があるものは、脱落していき、よいものだけが「くすりの候補」として治験に進みます。